



# 生涯学習

No.587

かおり高い

文化のまち

発行 下諏訪町  
教育委員会  
編集 生涯学習  
編集委員会

〒393-8501  
長野県諏訪郡下諏訪町4611-40  
(下諏訪総合文化センター内)  
☎ 0266-27-1111(内線718)  
FAX 0266-28-0131  
メール syougai@town.  
shimosuwa.lg.jp

## 新しい出発に向けて

教育長 松崎 泉  
まつざき いずみ



### ◆子どもは町の宝

先日小学校に行き、1年生の教室で元気な学びの様子を参観させていただきました。教室内を一周し参観を続けていると、トントンと私の腰のあたりに触れてくる子がいました。「はい?」と目を合わせると「白くなっています」と私にささやいてくれたので見ると、上着の腰のあたりがチョークで汚れていました。「あつ、さつき連絡黒板を背にして移動したときだ」と思い「教えてくれて、ありがとう」とお礼を言いました。

すると、どこで払うとよいか困っている私に「ハンカチで拭くといいかな」と言いながら、ポケット

トから可愛いハンカチを出してくれます。再度「あつ、ありがとう」と言って、彼女のハンカチはそっと返し、自分のハンカチで粉を落としました。不思議と良く落ちて、きれいになりました。そうか…。叩いて払うという私の発想でなく、ハンカチで拭くことの良さを教えてくれた彼女に感謝です。

なんと、心温まる一瞬でしょうか。優しい心ととっさの言動に学び、町の明るい将来を感じました。子どもは町の宝。さらに応援したい気持ちを高めました。今後とも折に触れ、子どもの素敵な姿を紹介し続けたいと思います。

### ◆子どもに学び自分を変える

私は、子どもの側に立ち、子どもに学びながら、この子にとつての最適な支援を考え、従来の

自分本位の意識を変えること。即ち、少しでも自分の力量を高めていくことができるよう心がけてまいりました。

町の校長会では『子どもの良いところを認め合い、笑顔あふれる学校を目指して』をテーマに進めています。がんばっていることや、いいなあと感じたことを、言葉で子どもに伝えることは、お互いの信頼関係を深め、温かい気持ちで生活できることに繋がります。

支援者として、できないことを強制的にできるようにさせるという考え方でなく、自ら考え進んで取り組む姿を認め励ますことで、子どもはさらに意欲を高め、やり遂げた達成感をもたらします。この積み重ねが将来に生きる力となります。共に喜び合い、笑顔あふれる保育園・学校・地域を目指しましょう。

このことは、子どもたちだけ

でなく、全ての方々へのかかわりと、まったく同じであると考えます。

### ◆新学期スタート 感謝の心で

さて、最大限の工夫をして行われた御柱祭の年が明け、学校・社会等では令和5年度が始まります。改めましてご入学、ご進学、ご就職おめでとうございます。

新しい出発に向けた生活への夢と希望をもち、支えてくださっているご家族、友人、そして新たな出会いを含め、かかわってくださる全ての皆様の温かい応援に感謝し前向きに生き抜きましょう。

コロナ対応の緩和、世界情勢等を含め様々な願いをおもちのことと存じます。皆様のご多幸とご健勝をお祈りしながら、年度初めのご挨拶とさせていただきます。



【訂正】 3月号「分館活動を振り返って」の第2区分館長のお名前は「山田昌宏」様でした。訂正してお詫びいたします。



## 昔からの夢を叶えて



みずべ保育園  
武藤 涼夏

私は専門学校を卒業し、下諏訪町の職員として町の保育園に就職しました。生まれは下諏訪

ではないのですが、高校時代に行ってきたボランティア活動で町民の皆様の優しさ・温かさを知り、私も下諏訪で働きたいと考えるようになりました。希望が叶い、昔からの夢であった保育士という形で下諏訪町への就職が決まった時はとても嬉しかったです。

就職してからは、年中児クラスを担当として春から子どもたちと生活をし、様々な行事や遊びを経験してきました。保育の専門学校を卒業したものの社会人一年目で右も左も分からない

中、クラスの担任を任せてもらうということに大きな不安やプレッシャーもあったのですが、周りの先生方に優しく支えていただき、日々忙しくも楽しい毎日を過ごすことができています。

しかし、教科書通りにはいかないことや、子どもの命を預かることの責任の重さ、子どもや保護者との関係づくりの難しさなど、働き始めてから気づく保育士の業務の大変さを目の当たりにすることも多くあります。子ども一人ひとり性格が異なるため、その子に合った関わり方を日々の生活の中から見つけていくことは、子どもたちと関わっていて大切だと感じており、授業で学習したポイントでもありません。しかし、その子に合った関わり方は成長や時期に合わせて変化させなければならず、一

定のやり方のみでは通用しないため、視野を広げて多角的な視点から子どもの姿をとらえなければなりません。一度上手くいったことでも次に上手くいかなくなってしまうたり、子どもたちが主体的に活動できる声かけの仕方が分からなかったりと、試行錯誤の日々を送っています。

ですが、保育士は実習生とは違い、子どもたちと長期的に関わることができるという良さがあります。毎日一緒に生活することによって会話や遊びの中から信頼関係が生まれたり、保護者との情報共有から子どもの新たな一面を知ったりと、子どもの内面まで知った上で深く関わることができます。また、運動会や発表会などの大きな行事を通して、子どもたちの成長を感じられたり、できなかったことができるようになる喜びを子どもや保護者と分かち合えたりすることができるようにも、保育士の魅力の一つだと感じています。

4月から社会人2年目になります。心配事や不安は絶えませ

んが、一年間で経験したことを活かしながら、自信を持って保育を行えるよう努めていきたいです。そして、笑顔や温かさを大切にしながら、豊かな感性を持つ子どもたちの成長・発達を支えていけるよう、さらに励んでいきたいと思っています。



折り紙のウサギを子どもと一緒に折っています

◎諏訪湖博物館4月の休館日は、3・10・17・24日です。



## 将来に向けて

西鷹野町 中山<sup>なかやま</sup> 梨乃<sup>りの</sup>



私は4月から介護施設で働き始めますが、高校では2年生から福祉コースを選択し、将来に向けて学んできました。高校入学時は、将来の進路としてトリマーを考えており、今とは全然違いました。私が介護職に就きたいと思ったのは、母が介護施設で看護師として働いているのと、自宅で曾祖母の介護をしている祖母の姿を見ていたからです。母に毎日職場の雰囲気や出来事を聞いていてとても楽しそうで、人のためになるのを実感することができると職業だから、私も介護職をやってみたくて思いました。

高校の授業では、専門的な内容を学んで、介護の大変さや現状、介護技術について詳しく知ることができました。実習も2回あり、特別支援学校とグルー

プホームで2日ずつ実習を行いました。

特別支援学校の実習では、自分達と同じ年代の人の生活のサポートが学べ、福祉の支援対象者として、高齢者だけではなく幅広いということを改めて実感しました。同年代の障がいをもつ人との関わり方が、少し私には分からなかった部分がありました。実際関わってみることで分かったのは、しっかり自分の意志を持って行動し、話す内容も私たちと変わらないのだということでした。

グループホームでの実習では、施設の利用者さんが認知症を患っている方が多く、一日の流れや日常の生活を過ごす中で、自然とリハビリテーションを入れるているのだと感じました。自然に行うことで利用者さんの負担も減

り、とてもいい支援内容だと思いました。

そのような経験を重ねて、私は4月から介護施設で働き始めますが、いきなり働き始めると大変だと感じたため、就職する施設で去年の10月からアルバイトとして働かせてもらっています。高校で福祉を学ぶ中で、授業内容や実習だけでは不十分な部分もあると感じたため、現場で働くことによって利用者さん一人一人にあった介護方法や会話の仕方などがわかり、とても勉強になりました。

これまで様々な介護についての経験をきて、大変さや苦労が見えたとしても気持ちは変わらず介護士になりたいという気持ちが強まりました。アルバイトをしていて、利用者さんに「ありがとう」や「若いのに頑張ってるねえ」と言ってもらえて、疲れていたとしても頑張ろうと思えます。話を聞いただけでは分からないこともたくさんあるので、自身で体験することが大事だと感

じました。

これからの人生でもやりたいことがある時は、まず何事にもチャレンジして、自分自身で体験して、合っているのかを判断したいです。高校で培った経験はとても大事な思い出になり、自分なりにさらに工夫して役立てていきたいです。



介護実習中 利用者さんにどちらの衣類がよいか選んでもらっています。

寝た姿勢から体を起こして車椅子に乗せるところです。







## 児童会長として



下諏訪南小学校

土田 つちだ  
輝咲 きさき



私は令和5年度南小学校の児童会長です。私が児童会長として、目指したい学校は、清潔で思いやりのある学校です。そのために実現したいことが三つあります。

一つ目は、仲良しでお互いを思いやれる学校です。そのために全校で関われるイベントを増やしていきたい、仲を深める機会を作りたいです。例えば、年に一度、お祭りのような全校が楽しめる企画を考えます。そうすれば、南小の合言葉である「みんな大好き」が実現できると思います。

二つ目は、いつでも清潔な校舎を保っていききたいです。そのためには日頃の掃除だけではなく、ふだんやらない所も全校で掃除する機会を作りたいです。

三つ目は、環境にやさしい、つまりSDGsのような取り組みをしたいです。具体的にもう使わなくなった物をリサイクルやフリーマーケットに出し、ほしい方に使ってもらおうなどとして、むだを減らしたいです。そこで得たお金を使って、古くなった物を新しい物と交かんしたいと考えています。

全校のみなさんに、「南小に通っていてよかったな」と思ってもらえるように精一杯がんばっていききたいと思います。

## 元気があふれる学校に



下諏訪北小学校

飯島 いいじま  
快斗 かいと



僕が令和5年度児童会長になりました飯島快斗です。僕が児童会長になりたいと思った理由は、皆が仲良く元気でいられる学校を作りたいと思ったからです。そのために、「学校が楽しいな」と思えるような活動を行っていききたいと思います。そして、みんなから信頼されるような児童会長になりたいです。僕が児童会長として取り組みたいことは二つあります。

一つ目はあいさつです。あいさつをすると、その人と仲良くなることができます。今年行った「あいさつの木」や「名刺交換」は、ほかの学年の人とも仲良くなれていきたいと思います。来年も続けていききたいです。

二つ目は、運動です。僕は運動が好きです。運動をすると気持ちがあきつて明るくなります。なので運動が好きなのも嫌いな人も、外で遊ぶなど運動の楽しさを知ってほしいです。そのためには、クラスマッチで今年行っていないような運動をしたり、姉妹ペアといっしょにする運動を取り入れたいです。そうすることによって、違う学年の人とも仲を深められたり、今よりも運動を好きになつたりすると思います。

このような活動を行って、北小をもっと明るく元気な学校へとしていきたいです。応援よろしくお願いします。



## 克己（心の成長）



下諏訪中学校

堀内 優心  
ほりうち ゆうしん



僕は心の塾に通っています。学習塾ではありません。その塾こそ下諏訪第三野球部です。第三野球部は、下諏訪中学校と下諏訪中学校の生徒からなる、クラブチームです。中学校では学べないことをたくさん学んでいます。

第三野球部は、挨拶、礼儀、全力疾走を大切にしています。野球の技術だけでなく、自分の心を強くするために練習（活動）をしています。精神的につらい時こそ、自分の弱い心を鍛えるチャンスだと思って奮起しています。第三野球部では思うようにいかないことが多いですが、それがかえって自分のためになっていると思います。昨年度、下諏訪中学校野球部が好成績を収められたのも、第三野球部の教えが根底にあり、それが生かされていると感じました。

中学校生活も残り一年となりました。第三野球部のユニフォームを着ていない日常生活でこそ、第三野球部の教え（挨拶、礼儀、返事など）を率先して行いたいと思っています。また、生徒会長としても第三野球部から学んだことを生かして、全校生徒のため、地域の皆様のために、率先して善い行いを積極的に行っていきたいです。

## 今年度の抱負



下諏訪中学校

笠原 伶文  
かわはら れいもん



私は今年度、3年生として、そして生徒会長として頑張っていきたいことが主に二つあります。

一つ目はもっと意見の言いやすい生徒会を作ることです。今年度、私は「常に動き続ける生徒会」を作っていこうと思っています。そのためには新しい企画を実施したり、定番となっている企画の改善をしたりするなど、あらゆることをしなければなりません。そして、これには役員だけではなく、全校の皆さんの意見が必要です。だから私は、生徒会をもっと意見の言いやすい場所にしたのです。そこで、気軽に自分の意見を出せるように廊下だけではなく各教室に意見箱を設置します。他にも方法があれば、どんどん試して意見の言いやすい生徒会にしていこうと思います。

そして、二つ目は、受験に悔いのないように全力で挑むことです。私は今まで、高校受験は自分の学力に合った高校を受験するものだと思っていました。しかし、そんなに単純なものではないと知りました。自分が高校でやりたいことは何なのか、それがどの高校なら一生懸命取り組めるのかを調べるのが大切です。だから今、私は高校で何に取り組みたいのか、それがどの高校ならできるのかをしっかりと考えていきたいです。そして、それが決まったら、その高校進学に向けて長い時間をかけて受験勉強を進めていき、万全の状態の入試に挑みたいと思います。



## 3年生になって頑張りたいこと



長野県花田養護学校

田村 実結希



私が3年生になって頑張りたいことは、笑顔で楽しい高等部を作ることと自分自身を高めることです。

まず、笑顔で楽しい高等部を作るために、高生会長として、高等部でレクや製作を企画したいです。レクについては、高等部のみんなの好きなことクイズや、お誕生月を知ることができるといいです。製作については書き初めで、みんなと一緒に言葉を書いたり、貼り絵などを作ったりする活動を通して、みんな達成感を感じ合えるようにしたいです。

次に、自分自身を高めるために、様々な活動を通してたくさん経験することと自己管理をすることです。経験については買い物体験や電車などの公共交通機関を使うなど、卒業後に実際の生活で使うスキルを身に付けたいです。そうすれば卒業後一人暮らしになっても安心だし、自分では気づけないことも気づくことができ自信がきます。自己管理については、手帳などを使って、自分がやらなくてはならないことを一つずつ丁寧に行えるようになります。

高等部最後の一年間を高生会長として、みんなの意見をまとめて、友達と楽しい時間を共有し笑顔あふれる高等部を作りたいです。

そして、将来に向けて様々な経験を積み、自分自身を高められるような一年間にしたいです。

## 悔いのない一年に



下諏訪向陽高校

古田 竣哉



早いもので高校生活も2年が過ぎようとしています。目標も持てないまま、なんとなく入学してしまった私にとって、向陽の漕艇との出会いは高校生活を有意義なものにしてくれました。

朝6時に諏訪湖へ行き朝練をこなし、学校までの坂道を登り授業を受け、放課後再び諏訪湖へ下り練習をする。自宅へ帰るためにまた坂道を登る。そんな毎日の繰り返しです。楽ではありませんが、楽しくて仕方ありません。普段味わえないスピード、水の上を風を切りながら進むと、とても爽快です。何より切磋琢磨しあえる向陽の仲間との出会いは大きな財産です。

部活を行えるのも残りわずかです。悔いの残らないよう日々練習に取り組みたいと思います。そして、そこに結果がついてきてくれたら、最高の喜びとなります。

今年は節目の年となります。卒業後の進路を決めなくてはいいけません。誕生日が来れば十八歳。成人となります。漕艇に励みつつも責任のある大人になれるよう将来についても考えていきたいと思えます。そして、私に関わってくれた多くの人達への感謝を忘れず、毎日過ごしていきたいです。